

## 第32回 緑の市民懇話会 会議録（要旨）

- 1 日 時 平成26年 5月15日（木） 16:00～17:30
- 2 場 所 市役所401・402会議室
- 3 出席者
  - （委員） 久座長、磯貝委員、稲葉委員、大鋸委員、倉品委員、林原委員、日高委員、山田委員、岩井委員、北島委員
  - （事務局） 大西都市整備部長、中井みどり景観課長、中川花のまちづくりセンター所長、巽みどり景観課緑化推進係長、松田みどり景観課主査、大澤みどり景観課
  - （欠席者） 2名
- 4 議事内容
  - 1 開 会
  - 2 案 件
    - （1）平成26年度 みどり景観課所管の緑化推進に係る事業概要について
    - （2）「花と緑の景観まちづくりコンテスト」について
    - （3）その他
- 5 議事録
  - （1）平成26年度 みどり景観課所管の緑化推進に係る事業概要について

### 【事務局説明】

- ・別紙「資料1」を説明。

### 【委員意見等】

みどりの基金について

- ・ふるさと納税の使いみちで、花と緑の潤いのあるまちづくりの推進としてみどりの基金に納税された実績はあるのか。（発言）

⇒まだ実績はない。基金残高は、各事業に活用して減ってきている。

- ・河内長野市のふるさと納税が、カタログから品物を選ぶ方式にリニューアルしたところ、納税額が1ケタ変わったそう。仕掛け次第で変わることの良い例だと思う。（発言）

## (2)「花と緑の景観まちづくりコンテスト」について

### **【事務局説明】**

- ・別紙「資料2-1」及び「資料2-2」を説明。

現地審査について、1年を通じたの取組状況を審査する初めてのコンテストとなる。今年度の応募件数は24件。

### **【委員意見等】**

・現地審査はどのような体制で行うのか。全員で行うのか、部会方式で行うのか。(発言)  
⇒部会方式で行う。拳手によって決まった5名の委員が核となり、年4回を予定している現地審査の日程を決める。他の委員の方は、日程が合えば随時参加する。

・応募要領に載せている第1回目の現地審査は「5月」となっているが、5月は春の花が終わり難しい時期ではないか。(発言)

⇒これからはバラの時期だし、春の花が終わって植えつけをしているところもある。「花と緑のコンテスト」なので、緑を見ることも大事なのでは。

・今年はバラが咲き始めるのが早いので、旬を逃すのでは。5月はバラを優先に考えるのであれば、早めに現地審査を行う方が良い。(発言)

⇒5月21日現地審査を行う。

・写真をデータベース化するとわかりやすいのではないか。(発言)

・現地審査個票は、年4回の審査がつながるようメモやコメントを書き込めるようにして、前の審査を踏まえ、次につながるものにしてほしい。(発言)

## (3) その他

### **【事務局説明】**

- ・ふろーらむが「緑の環境デザイン賞 第25回記念特別企画 『継続優良賞』」受賞の報告
- ・5月18日(日)「第5回花と緑まちづくりフェスタ in ふろーらむ」開催の案内

### **【委員意見等】**

・保護樹木制度の進み具合は。(発言)

⇒指定の手続きを現在5件行っている最中である。残りについても引き続き指定の手続きを行っていく予定である。

<次回の日程について、7月下旬から8月上旬を予定>